

宜野湾高校の生徒達へ（81）

2021.2.8

送別球技大会が延期を経て、2月4日に実施された。開会式で私は次のような挨拶をした。

生徒の皆さん、待ちに待った送別球技大会です。実施が危ぶまれていましたが、皆さんの感染予防の徹底により、実施することができました。天気も快晴です。1・2年生にとっては、学年末テスト前の実施となります。当初は3学年だけの大会案も出ましたが、3年生最後の学校行事にしたいという生徒たちや先生方の思いにより、全学年参加の大会を実施できることは嬉しい限りです。

大会にあたっては、コロナ感染予防を徹底し、ソーシャルディスタンス(物理的距離)をとりつつも、宜野湾高校生の心の距離をしっかりと縮め、絆を深め、高校生活の良き思い出となることを強く願い、校長挨拶とします。

次に3年生の感想だ。

◎今回はコロナウィルス感染対策をしっかりした上で三年生送別球技大会を実施していただき、とても楽しむことができました。例年のような球技大会とは違いましたが、思いっきり各自プレーができたと思います。自分たち以外の学級の試合観戦、応援ができない中で、**分かりやすく試合報告をしてくれるなど生徒会を中心に頑張っていた**と思います。また、今回の実施が今後の球技大会へも繋がると思います。このような、状況の中で球技大会を実施できたことをとても嬉しく思います。今回は本当にありがとうございました。

◎私たち3年生はコロナでの休校や分散登校、行事のカットなどでなかなかクラスの仲を深める機会がなく**悔しい思い**をしてきました。やっと生徒会や先生方の協力のお陰で行うことができた今回の送別球技大会でみんな一致団結して縄跳び一位を目指したり、互いを応援し合っ
て一緒に盛り上がりバレーボールで準優勝を果たしたり、クラスで団結することの素晴らしさを感じました。**高校3年間で一番の思い出**になりました。とても楽しかったです。



生徒会は、どのような感想を抱いたのだろうか？

★今回、コロナのレベルが上がってしまい、一度は延期になったけれど、このような行事ができるようになって嬉しかった。皆からも**三送会をやりたい**との声があったので、それを実現できて良かった。また、三送会当日も大きなトラブルもなく無事に終了することができて良かった。一年生も二年生も三年生も皆、感染対策をしっかりしながら楽しめていたので、生徒会の皆も安心して楽しむことができ今回の行事はとても良かったと思う。また、**新しい大縄跳びにもチャレンジ**してみ、**男女仲良く楽しそうに協力**しているのが見れて、とても良かった。次は、卒業式に向けて、大成功が収められるよう、生徒会が一丸となって取り組んでいきます。



今回の送別球技大会を通して、感じたこと・考えたことは「**困難な状況に直面**しても、皆で知恵を出し合えば、**打開策を見出す**ことができる」であった。生徒や先生方はそれぞれの立場で意見を出し、最終的には安全確保を確認しながら、生徒たちの成長につなげる視点から対応策が決まっていた。

生徒・先生方の安全を確保していくために生徒会は昼休みの放送でコロナ感染予防を呼びかけ、大会実施にあたって、どのようにすれば**感染予防の徹底**ができるかを考え、大会運営を行った。生徒の皆さんも、3年生を後輩の自分たちが送り出す気持ちを感染予防の徹底につなげた。

私は、今回の**送別球技大会の成功**が**これからの宜野湾高校の発展**を暗示しているように思えてならない。そう感じさせるほど**皆の気持ち**が一つになった大会であった。**生徒・先生方に感謝**である。

1・2年生は明日から**学年末テスト**が始まる。**最善**を尽くそう！ **3年生**も、1・2年生へ感謝の気持ちを忘れず、残された高校生活を先輩として**手本**を示してほしい。

家の近くの桜が青空に映え、満開の花を咲かせている。私の気持ちも満開の桜のようだ。

沖縄県立宜野湾高等学校長 津留一郎